



## 申6号2019年度冬期の取組みに対する申し入れ団体交渉報告

# 万全な冬期体制を確立しよう！

新潟地本は11月21日2019年度冬期の取組みについて団体交渉を行いました。昨年は暖冬消雪であったものの、一昨年のような雪害が発生することもあり得ることから万全な体制を求めました。

### 冬期体制を12月1日からとし、全系統で統一すること。

回答は提案通りであったものの、冬期体制が終わる3月以降について降雪状況によってスキー場が営業していれば多客が見込まれることから、営業職場では実態に合わせて対応することを確認しました。

### 「とらん丸」運用方、教育体制などについて

昨年導入から運用に関して載線個所や運搬業者について調整中であった事柄について確認を行いました。新潟、長岡、柏崎の各保線技術センターで運搬業者が決定したことについて確認をしましたが、載線個所について全線区で決まっていないので冬期体制前に確定させることを強く求めました。また組合側から要求していた運用する際、運搬業者の手配について現場では対応しきれないので支社で行うよう求めていたことに対して、支社が業者手配を行うことを確認しました。

### E129系ディスクブレーキ凍結対策、凍結確認、設備改善について

凍結対策として防風柵設置、留置箇所変更に加えて今期は試験的に石打駅でパネルヒーターを設置することを確認しました。車掌誘導による凍結確認は気象条件を考慮して行うことを確認しました。しかし、実施する時の指示方法や勤務の取扱いについて課題が残るので現場作業実態を考慮した取扱いを求めました。

### 消雪設備の新設、取り替えについて

長鳥駅下り軌間消雪シート、十日町駅構内ポイント融雪装置新設について課題として持っているものの、設置については難しいという回答でした。津川駅、五十島駅線間プールについては現状壊れていて使用できないので冬期前までに修繕するよう要請しました。

\*その他の項目（全22項目）、詳細については交渉メモを参照してください。

# 東日本ユニオンに加入して更なる労働条件向上を実現しよう！